

消費財メーカーのための シンガポール進出ガイド



シンガポールは グローバルな消費財メーカーに選ばれています

シンガポールはグローバル企業の地域統括、R&D、製造、サプライチェーンとイノベーション活動の一大拠点です。

日用消費財メーカー

トップ
10社

化粧品メーカー

トップ10社のうち
8社

食品・飲料メーカー

トップ20社のうち
16社

家庭用品、パーソナル・ケア
製品メーカー

トップ
6社

スポーツウェアブランド

トップ
3社

日本の消費財メーカー

明治

サントリー

資生堂

ポッカ

ピジョン

ライオン

アシックス

セイコー

シマノ

東芝

パナソニック

(例) 資生堂

シンガポールには資生堂のアジア太平洋地域の本社、トラベルリテールのグローバル本社、資生堂シンガポール支社、アジアラーニングセンター、APACイノベーションセンター、ライフクオリティビューティセンターがあります。

従業員数



250名
(17の国籍)

売上高



8億5000万
シンガポールドル
(アジア太平洋地域の2018年)

シンガポールで どのようにイノベーションを起こしているか

シンガポールは「世界イノベーション指数」で**アジア第1位**を誇るイノベーションハブです。



アジアで最も
革新的な国



スタートアップ
エコシステムで
東南アジア



約**5万人**の
研究開発人材

社内イノベーション



P&G

エンドツーエンドのグローバルイノベーションセンター。新製品やパッケージ開発、特定の製品カテゴリのソリューション開発

コ・イノベーション



A*STAR

日用消費財のグローバル企業や、他の研究機関、コンソーシアムとの、持続可能な包装に関するソリューション共同開発

オープンイノベーション



ロレアル

サステナビリティや都市居住の分野でアジア太平洋のスタートアップや中小企業とシンガポールでイノベーション・ランウェイを立ち上げ

シンガポールのデジタル能力

シンガポールはデジタル競争力ランキングで**世界2位(アジア1位)**を誇ります。

アジア太平洋地域のデジタル接続性



アジアにおけるIP保護



東南アジアのデータセンター容量の



54%

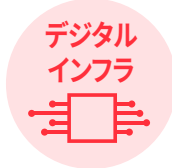


アジアにおける
大学トップ2
NUSとNTU

5,200社以上の
スタートアップ
フォーチュン
500社からのCoEs



シンガポールの
デジタル
エコシステム



22の
ケーブルシステム
279tbpsの
海底ケーブル容量

ユニリーバ
ファンドリー、
PayPal
Joint Labsなど



消費財メーカーのデジタル活動



(例) ユニリーバとラザダの提携

目指すもの

東南アジア市場における
オンライン販売の拡大

内容

- One to One マーケティングで収益の掛け算
- 多様な支払い方法の確立
- 物流とインフラの課題解決

手段

	ラザダ	+	ユニリーバ
1 パーソナリ化されたマーケティング	ウェブサイトのデータ収集		購買パターン分析と個人別のターゲティング
2 製品カテゴリ開発	製品販売データの提供		新製品販売におけるチャネル戦略を決定するための洞察を使用
3 サプライチェーン&フルフィルメント	在庫管理と計画、配送方法の多角化、代引き払い		ラザダのプラットフォーム上に公式ストアを設置することも可能

シンガポールが 製造拠点に選ばれる理由

製造業は、シンガポールのGDPのうち**20%以上**を占めており、
多くの企業が製造拠点を設けています。

貿易の接続性



23カ国のFTA
36カ国の
貿易パートナー

市場へのアクセス



ASEANは**世界第5位**
消費者数**6億4千万人以上**

強力なIP保護



知財保護



例

明治

明治初の海外事業の一つである製菓工場、世界的な調達ハブ

ポッカ

ペットボトルの熱間充填プロセスも含む飲料製造工場

シマノ

東南アジア初の自転車部品製造用インテリジェント工場

キンバリークラーク

インダストリー4.0を取り入れAPAC諸国に輸出するシンガポール工場

※2020年11月時点の情報です。